

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	智頭町防災備品整備事業	智頭町	598,400	598,400	

II. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	智頭町防災備品整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		智頭町
交付金事業実施場所	智頭町立智頭中学校（鳥取県八頭郡智頭町智頭） 智頭町勤労者体育センター（鳥取県八頭郡智頭町大字智頭） 智頭町総合センター（鳥取県八頭郡智頭町智頭） ひまわり会館（鳥取県八頭郡智頭町智頭）	
交付金事業の概要	<p>近年、日本全国で自然災害による被害は拡大し続けています。平成23年の東日本大震災、平成30年の西日本豪雨、令和2年の7月豪雨など、歴史上でもまれに見る大規模な地震や台風、集中豪雨による被害を中心に生活への影響は大きくなっています。本町においても、台風や集中豪雨等による自然災害が年々増加しており、特に平成30年の西日本豪雨では町内各地で甚大な被害が発生しました。町内を流れる千代川では護岸の崩壊、家屋の床下浸水の被害なども発生し、700人近くが避難所に身を寄せました。</p> <p>こうした状況もあり、平成30年以降本町では災害体制の整備に力を入れており、町民からの声や各施設の実態をもとに防災拠点の整備を進めています。その中で、体力が少ない高齢者を中心に避難所で安心して過ごすための簡易ベッドを望む意見が西日本豪雨発生時の避難者から寄せられており、実際に各避難所では該当物資の不足が見られたため、本町では簡易ベッドの整備を行ってきました。（昨年度電源立地交付金下期申請により83台整備）</p> <p>町指定避難所のうち、簡易ベッドが不足している4施設（智頭町立智頭中学校（体育館）、智頭町勤労者体育センター、智頭町総合センター及びひまわり会館）は、本町の中心市街地である智頭地区の避難所であり、高齢者をはじめ多世代の多くの住民が居住しているにも関わらず、場所によっては簡易ベッドが未整備の状態です。（智頭地区：2,709人、山形地区：845人、那岐地区：926人、土師地区：911人、富沢地区：623人、山郷地区：465人）</p> <p>今回の事業では、4施設で簡易ベッドを整備し（智頭町立智頭中学校 10台、智頭町勤労者体育センター 30台、智頭町総合センター20台、ひまわり会館20台）、町が設定している目標台数を目指し設備を整えます。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>第7次智頭町総合計画（平成29年度～令和8年度）                      第3部基本計画 6 環境整備                      施策5 消防・救急                      （以下、第7次智頭町総合計画より一部抜粋）                      本町は迅速な救助が困難な山間地や山岳なども抱えています。もしもの時に迅速かつ適切な対応ができるよう体制整備を進め、災害時に必要な情報の共有、緊急時の連絡体制確立などの災害対策体制の確立を進めます。</p> <p>■災害対策体制の確立</p>	

事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度		令和4年度
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和4年度
	避難所運営職員の満足度90%	満足度：やや満足以上の回答をした者：回答者数×100	成果実績	%	75
			目標値	%	90
			達成度	%	83
	評価年度の設定理由				
	事業完了後速やかに評価することにより事業改善を図るため				
	交付金事業の定性的な成果及び評価等				
<p>本事業による簡易ベッドの整備により、多くのお年寄りが避難する各施設の受け入れ体制が改善しました。今まで避難所としての利用ができなかった部屋も、避難者の寝る場所として確保できるようになったこと等が喜びの声として得られました。その一方で、女性や力が弱い人には組み立てが難しいのではという意見、ベッドの幅に関して「コンパクトであるのは良いが少し狭い」という意見があり目標値を満たしませんでした。次年度以降については、こうした意見もふまえて交付金事業・施設整備を進めていきます。</p>					
評価に係る第三者機関等の活用の有無					
無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	年度
	簡易ベッドの設置台数	活動実績	台数	80	
		活動見込	台数	80	
		達成度	%	100	
交付金事業の総事業費等	令和4年度	年度	年度	備考	
総事業費	598,400				
交付金充当額	598,400				
うち文部科学省分					
うち経済産業省分	598,400				
交付金事業の契約の概要					
契約の目的		契約の方法		契約の相手方	
防災備品整備		随意契約（少額）		株式会社 昭栄商会 （静岡県浜松市東区植松町）	
				契約金額	
				598,400	
交付金事業の担当課室	智頭町役場 企画課				
交付金事業の評価課室	智頭町役場 企画課				